

# よむぞうタイムズ 79号

3年生 4年生

狭山市立図書館 2020.12.1発行

「ちいさなちいさな」 めにみえないびせいぶつのせかい (EKサ)  
ニコラ・デイビス/文 エミリー・サットン/絵 越智 典子/訳  
出川 洋介/監修 コブリン書房



ひせいぶつ  
微生物は、目にみえない小さな生きもの。種類はいろいろ。大きさも形もいろいろ。コロナウイルスのように、病気をひきおこすこわい微生物もある。でも、それはほんのいちぶ。実は微生物は、自然界の中で、とてつもなく大きな仕事をしているんだ。

## 「星空を届けたい」

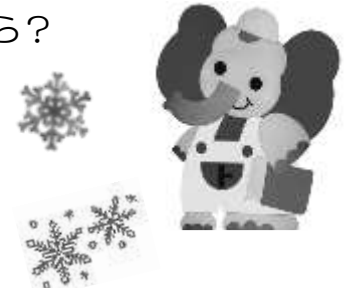
出張プラネタリウム、はじめました!

(J440夕) 高橋 真理子/文 早川 世詩男/絵  
ほるぷ出版

たくさんの人に、星空を体験してほしい!  
元気なだけでなく、目が見えない人にも、  
長期入院で外出できない子どもたちにも…。  
すべての人の頭の上に必ず輝く星空ある。  
勇気をあたえてくれる宇宙がある。



みんな元気? 今年の冬は雪がふるかしら?  
雪の結晶をこの目で見てみたいなあ…  
きっと、感動だよな!  
今回は「見えないものがみえるかも!」  
の本を集めてみましたよ。



## 「雪の写真家ベントレー」(EE7)

ジャクリン・ブリッグズ・マーティン/作 メアリー・アゼアリアン/絵  
千葉 茂樹/訳 BL出版

小さな村でくらすひとりの農夫が、50年にわたってくふうをこらしながら雪の結晶の写真を撮りつづけた。彼の記念碑にはこう刻まれている「“雪を愛したベントレー”  
ジェリコが生んだ世界的な雪の専門家」



## 「いのちは見えるよ」(EE+)

及川 和男/作 長野 ヒデ子/絵 岩崎書店



目が見えない おとなりのルミさんが、赤ちゃんを産んだ。  
かわいい赤ちゃんを見て、思わず「見えたらいね」と、言ってしまったら、  
「見えるよ。いのちは見えるよ」と、ルミさんが答えてくれた。「いのちが見える」って、どういうことかな・・・

=\* お休みの日 \*=

### 【中央図書館】

12月 1・7・14・21・28~31日

1月 1~5・12・18・25・日

### 【狭山台図書館】

12月 14・28~31日

1月 1~4・12・25日

### 狭山市立図書館

中央図書館 ☎04-2954-4646

狭山台図書館 ☎04-2958-3801

狭山市公式ホームページ

<http://www.city.sayama.saitama.jp/>

\*図書館は10時開館です。\*マスクをつけてきてね。\*読書の前後は手洗いを!



「子どものときに読みたい本100冊」(さやまの100冊)は、狭山市の教育委員会がおすすめしている本です。

「はだかの王さま」(EJバ) アンデルセン/作  
バージニア・リー・バートン/絵 乾 侑美子/訳  
岩波書店

「これは、おろかなものにはけっして見えない  
まほうの布。見えるのは、かしこくてやくめに  
ふさわしいものだけ」という布で、服を作らせ  
た王さま。



みんなは口々に「うつくしい!」「すばらしい!」  
と言うけれど、どうしたこと  
だ? わしには、なにも見  
えないぞ!!

「おひめさまになったワニ」(JEシ)

ローラ・エイミー・シュリッツ/さく  
ブライアン・フロッカ/え 中野 怜奈/やく  
福音館書店

りっぱな 女王になるために  
朝から晩まで習い事の毎日。  
もううんざり。

そんなひめのもとに、大きな  
ワニがとどけられた。

「おれが、ひめのかわりをし  
てるから、あそんできなよ」  
だって!このワニどうみて  
も、おひめさまには見えないぞ。

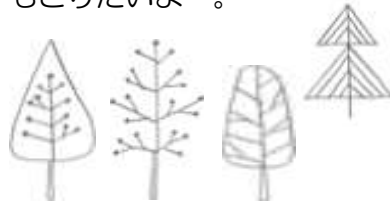


「スズメぼうし」(JPタ)

たつみや 章/作 広瀬 弦/絵 あかね書房

公園でみつけた茶色いぼうしをうっかりかぶっ  
たために、スズメになってしまったヒロシ。  
いつもの町が別世界だ。冒険、そして友情。  
鳥の「仲間」ってなんだか  
いいカンジ。

でも、やっぱり、人間に  
もどりたーいよー。



「ホオズキくんのオバケ事件簿」1~3  
(JDト1~3)

富安 陽子/作 小松 良佳/絵 ポプラ社

4年生の新学期に、なぞの転校生がやってきた。  
名前は 鬼灯京十郎。オバケが見える一族の生まれ  
なんだって!じゃあ、オバケ退治もできるの  
かな?実は、今ちょっと困っているんだ…。

1巻「オバケが見える転校生!」

2巻「オバケはあの子の中にいる!」

3巻「4年1組のオバケ探偵団」



「あとかくしの雪」(EA材)

大川 悦生/作 太田 大八/絵 ポプラ社

旅のぼう様を 一晩泊めることになったものの、  
もてなすものが何もない貧しいばあさま。  
裕福なとなりの庭か  
ら、だいこんを一本だ  
けぬすんでしまった。  
庭には、ばあさまの  
足跡がくっきり。  
でもその夜、ふしぎな  
ことが…。



「てんぐのかくれみの」(JAテ)

おはなし12か月 15 冬休みのおはなし  
日本民話の会/編 国土社

ある男が、てんぐをだましてかくれみのを手  
入れた。しめしめ、かくれみのですがたを消し  
て、どこにでもしのびこめるぞ。食いほうだ  
い、飲みほうだいじゃ。  
ところが…。

全部で10話楽しめるよ。

「おはなし12か月」のシリー  
ズは、12月のおはなし「かさ  
じそう」、1月のおはなし「ね  
この正月」など、全部で15冊  
あるよ。

